

十勝毎日新聞

発行所
十勝毎日新聞社

©十勝毎日新聞社 2003

〒080-8688

帯広市東1条南8丁目

TEL(代表)0155-22-2121

編集局 0155-22-2121

広告局 0155-23-2323

販売局 0155-24-2222

事業局 0155-22-7555

総務局 0155-24-2299

広尾支局 01558-2-4111

池田支局 01557-2-2367

本別支局 01562-2-2618

新得支局 01566-4-5524

札幌支社 011-261-2161

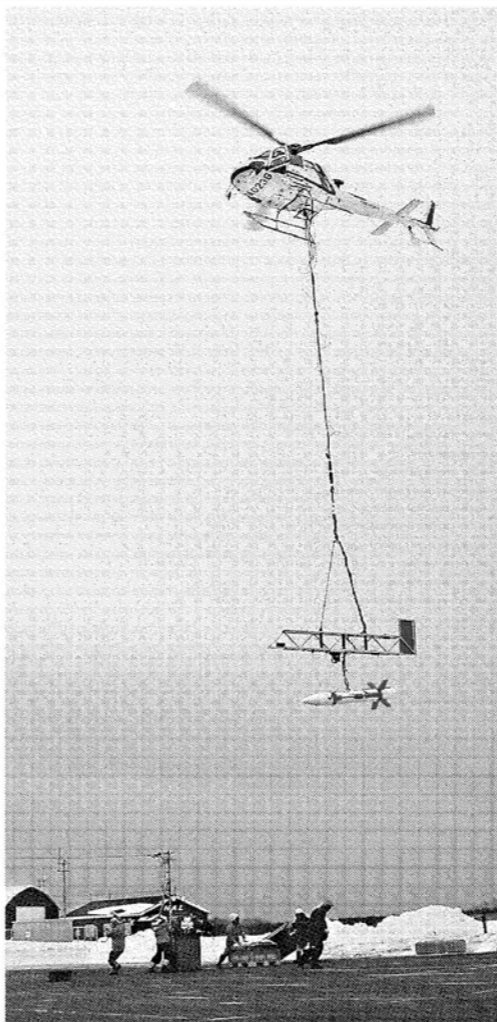
東京支社 03-3544-1365

ロケット型実験機 データ収集を開始

大樹でIHIエアロスペース

【大樹】宇宙関連企業 大樹多目的航空公園で、IHIエアロスペース 宇宙空間に打ち上げた機

は3日、大 体を地上で回収し、再利
用できるシステム開発に
関する試験を開始し
た。ロケット型の実験機
(無動力)をヘリコプタ
ーでつって移動。その間、
機体へ組み込んだラジオ
ラム通りに回収時に必要
な姿勢に制御できるかと
うか、動作の応答性など
を確認する。機体の詳し



い飛行特性も把握し、デ
ータを収集する。
実験は7日までの予
定。来年は実際に機体を
上空から落下させ、自動
制御で搭載するパラグライ
ダー式のパラシュート
を開いて目的地まで誘
導、着地させる実験を行
う。
将来は、数十倍四方の
目標地点まで正確に誘
導、着地できる技術を確
立。5-10年後をめどに

実用化させたい考え。機
体を回収、再利用できる
同技術は、ロケットエン
ジンなどを開発する際、
低予算で打ち上げが可能
になる。また、地上で暮
らす住民の安全確保にも
役立つという。
今回の実験には同社社
員ら13人が参加。1回目
はヘリコプターで実験機
(機体全長約4.5m、重量
約230kg)をつり、高
度を約100mに保ちな
がら上空を直線に往復す
る飛行を繰り返した。午
後には高度約200m以
上実施。同社第一宇宙技術
課の大塚浩仁課長は「期
間中に高度1・9mまで
上昇させて各種のデータ
を取得し、来年の実験に
生かしたい」と話してい
た。(浅井文人)

ヘリコプターでつって
移動するロケット型の
実験機